



環境にやさしい企業活動を目指して



きじ馬と花手箱



ラフティング

# '08 人吉電力所環境アクションレポート



ずっと先まで、明るくしたい。

## ごあいさつ

人吉電力所は、熊本県南東部の人吉市と球磨郡及び八代市の一部にある水力発電所、変電所及び送電線路の保守及び維持、管理を主業務として、お客さまに良質で安定した電気をお届けしている事業所です。

一方、当電力所は環境にやさしい事業運営を目指し、2001年3月に環境管理の国際規格であるISO14001の認証を取得し、全社員が環境活動に積極的に取り組んでいます。

具体的には、「私たちは 未来へつなぐ 環境活動を推進します」というビジョンのもと、循環型社会の形成及び環境関連法規制の遵守など5項目の基本方針を定め、環境マネジメントシステムを確実に展開するとともに、所員一人ひとりが日常生活においても環境に配慮した行動を実践しています。

今回も、当社「九州電力の思い」の実現に向けて、「人吉電力所環境アクションレポート」を発行し、これらを媒体とした皆さまとのコミュニケーションを通して、環境への取組みを更に充実させていきたいと考えております。

2008年6月

人吉電力所長 居石 源司



EMS事務局メンバー

### 九州電力の思い

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」  
そんな毎日子どもたちの未来につなげていきたい。  
それが、私たち九州電力の思いです。

————— この思いの実現に向けて、私たちは次の4つに挑戦しつづけます。 —————

- 1 地球にやさしいエネルギーをいつまでも、しっかりと
- 2 「なるほど」と実感していただくために
- 3 九州とともに。そしてアジア、世界へ
- 4 語り合う中から、答えを見出し、行動を

# 目次

## 第1章／電力所と環境との関わり …… 2

## 第2章／人吉電力所の概要 …… 4

1. 組織と業務
2. 管轄範囲
3. 管轄設備と運用実績
4. 人吉電力所環境方針

## 第3章／環境活動のしくみ …… 6

1. 環境マネジメントシステム …… 6
  - (1) EMS導入とISO14001 認証取得
  - (2) 運用体制
  - (3) 内部環境監査
  - (4) 教育・訓練
  - (5) 外部環境審査
2. 環境目的・目標の計画と実績 …… 8
  - (1) 2007年度の実績と評価
  - (2) 2008年度の計画

## 第4章／環境活動への取組み …… 10

1. 環境汚染を予防する設備形成の推進 …… 10
2. 電力所オフィスにおける3Rの推進 …… 12
  - (1) 一般廃棄物の3R
  - (2) 産業廃棄物の適正処理
  - (3) グリーン調達の推進
3. 地域貢献 …… 13
  - (1) 地域清掃活動への積極的参加
  - (2) 植樹活動への参加
  - (3) 不法投棄防止への取組み
  - (4) 小学校における環境活動講師の実施
  - (5) 社会福祉施設清掃ボランティアの実施
  - (6) 稚魚放流の実施
4. 環境活動意識の高揚 …… 15
  - (1) 意識高揚標識の設置
  - (2) 環境活動情報誌の掲示
  - (3) 環境にやさしい日常行動の自己評価
  - (4) 環境方針カードの配布
5. 人吉電力所EMSの経緯 …… 17

### 表紙の写真について



#### ■きじ馬と花手箱

800年以上前、平家の落人が球磨地方に逃れ、人吉の奥地に居を定めたとされています。平家落人たちは、過ぎし都の暮らしを懐かしみ、きじ馬、花手箱、羽子板などの美しい木工品を作りはじめたと伝えられています。



#### ■ラフティング

日本三大急流の一つである球磨川は、「球磨川下り」が有名ですが、最近では人吉・球磨の大自然が満喫できるスポーツ「ラフティング」も盛んに行われています。

# 第1章／電力所と環境との関わり

山間部にある水力発電所で発電された電気は、輸送ロスが少ない高い電圧で送電線を経由してお客さまの近くの変電所まで送られます。変電所に届いた電気は低い電圧に下げられ、配電線でお客さまへ届けられます。

電力所は、当社電気設備のうち、水力・変電・送電設備を管理する事業所であり、事業活動における電力所と環境との関わりを図示すると以下のようになります。

## ダム・水路

### 【廃棄物発生】

水力発電所の取水ダムなどに河川の流木などが堆積します。

----- [P11「流木の有効活用」へ](#)



## 水力発電所

### 【省資源】

水力発電は、水の力で電気をつくる貴重な純国産エネルギーであり、発電時CO<sub>2</sub>が発生しないなど環境面で優れた発電方式です。

----- [P10「国産自然エネルギーの有効利用」へ](#)

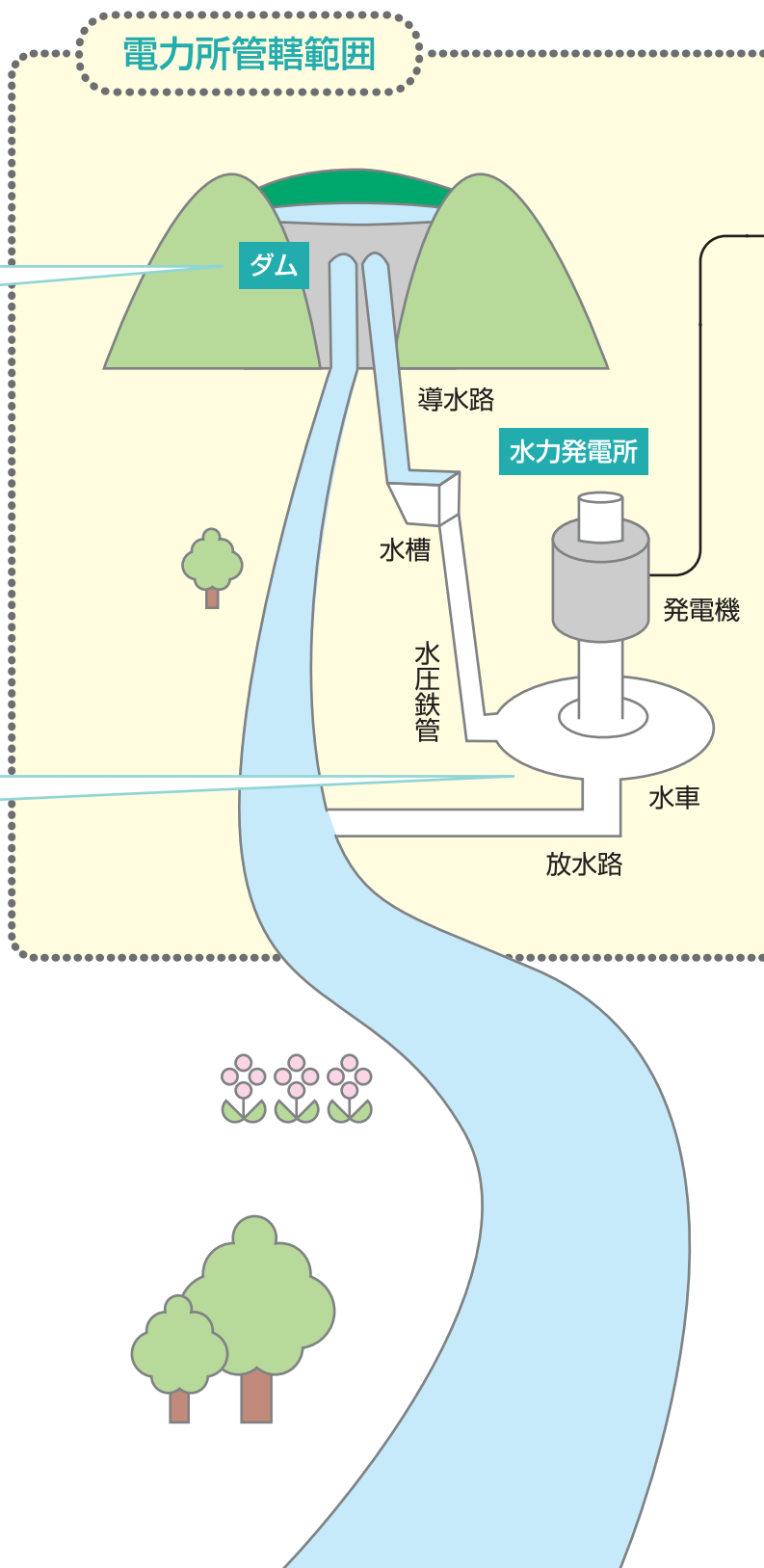
### 【河川汚染リスク】

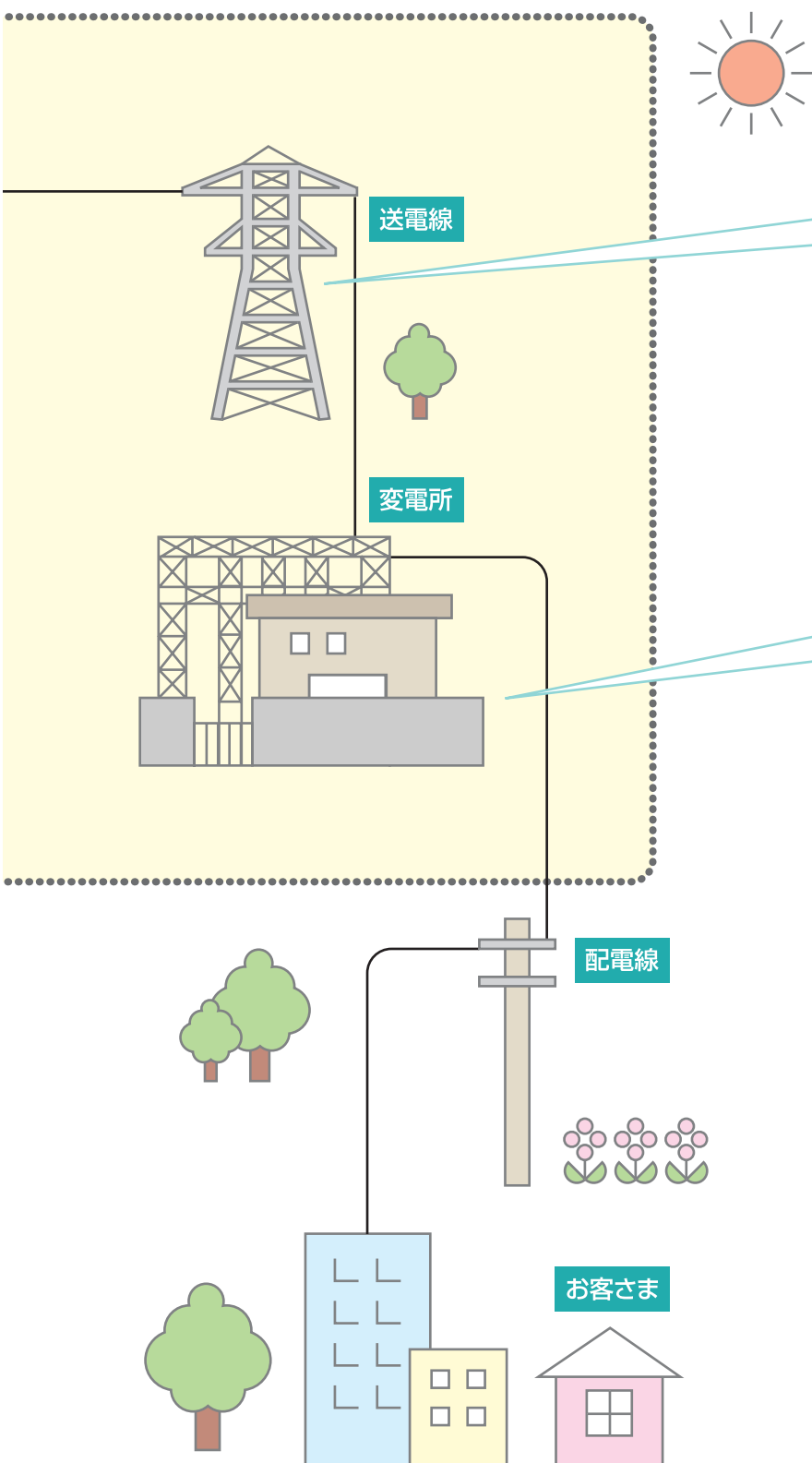
水力発電所の油圧機器の油が河川に流出する恐れがあります。

----- [P10「水力発電所油レス化の推進」へ](#)



## 電力所管轄範囲





## 送電線

### 【景観変化】

山間部の鉄塔建設には森林の一部伐採を伴います。

..... [P11「送電鉄塔の環境調和」へ](#)



## 変電所

### 【大気汚染リスク】

変圧器の防音材などには、健康障害を引き起こす恐れのある石綿が含まれているものがあります。

..... [P11「石綿除去の推進」へ](#)

ガス絶縁開閉器の内部には、地球温暖化、オゾン層破壊に影響があるSF<sub>6</sub>ガスが使用されています。

..... [P11「オゾン層破壊ガスの回収徹底」へ](#)

## その他(事務所内活動)

..... [P8・12・13 へ](#)

### 【エネルギー消費】

・事務所内の活動で電力を消費します。

### 【資源消費】

・事務所内の活動で紙を消費します。

### 【廃棄物発生】

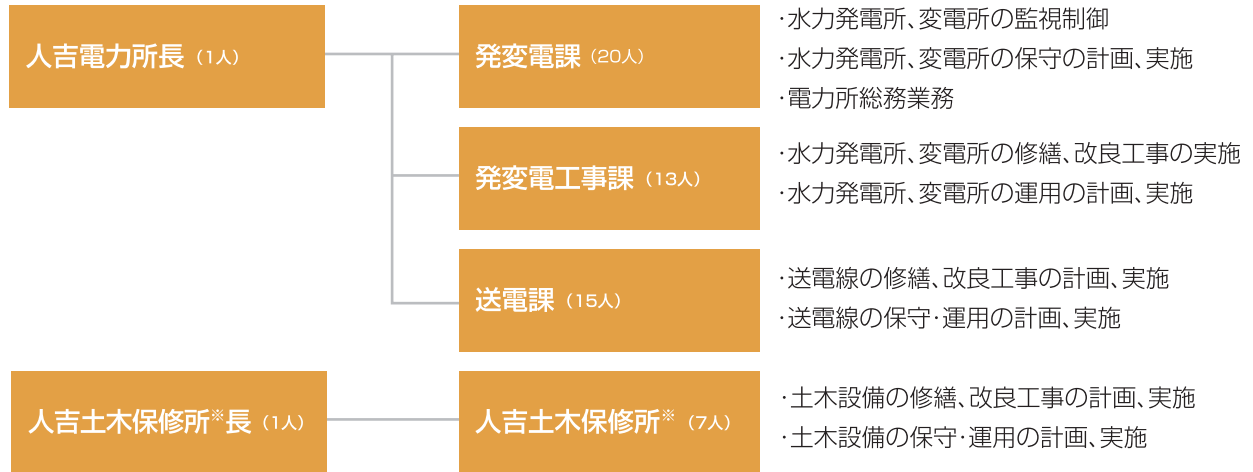
・事務所内の活動でゴミが発生します。

# 第2章／人吉電力所の概要

人吉電力所は、熊本県南部、人吉市周辺の水力・変電・送電設備を管理しており、同地域の土木設備を管理する人吉土木保修所とともに環境活動に取り組んでいます。

## 1. 組織と業務

人吉電力所及び人吉土木保修所の組織と業務は以下のとおりです。



2008年4月1日現在

※：旧人吉電力所土木課。2005年7月に組織改正し、別組織となったが、人吉電力所のEMS活動を継続して実施している。

## 2. 管轄範囲

人吉市、球磨郡（錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、五木村、相良村、山江村、球磨村）及び八代市の一部（泉町）



## 3. 管轄設備と運用実績

人吉電力所			
水力発電所	9箇所	出力合計	60,860kW
変電所	3箇所	容量合計	665,000kVA
送電線	路線巨長 320km		

2008年3月31日現在

発電実績	142,115 MWh
需要実績	540,919 MWh

2007年度実績

## 4. 人吉電力所環境方針

人吉電力所は、以下のような考え方に基づいて環境保全活動に取り組んでいます。

### 九州電力 グループ 環境憲章

#### 「環境にやさしい企業活動を目指して」

九州電力グループは、持続可能な社会の実現を目指して、グローバルな視点で地球環境の保全と地域環境との共生に向けた取組みを展開します。

- 1.地球環境問題への適切な対応と資源の有効活用に努め、未来につなげる事業活動を展開します。
- 2.社会と協調し、豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組めます。
- 3.環境保全意識の高揚を図り、お客さまから信頼される企業グループを目指します。
- 4.環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを推進します。

平成20年4月1日

## 人吉電力所環境方針

### 基本理念

九州電力は

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

という「九州電力の思い」のもと、これからの時代の変化の中でも変わることなく電力・エネルギーを安定してお届けすること、そしてお客さまの快適で環境にやさしい毎日へ貢献することを約束しています。

人吉電力所は水力発電所、変電所、送電線路を保守、維持、管理し、電力を安定供給することを使命とする事業所であり、「電気にまごころを 環境にやさしさを 職場に笑顔を」の行動方針のもと、地域住民の一員として所員自らができる活動から環境マネジメントシステムに取り組めます。

### 基本方針

- 1 事務所内活動および水力発電所、変電所、送電線路の建設工事や保守作業などの事業活動全般を通じ、省資源、廃棄物の削減・再資源化及び汚染の予防に取り組み、循環型社会形成と健全な環境の維持・向上に努めます。
- 2 環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守します。
- 3 事業所が管理する範囲の環境保全に努め、周辺の地域環境に配慮した活動を積極的に行います。
- 4 環境目的・目標を設定し、その実現に努めるとともに、定期的なレビューにより環境マネジメントシステムの継続的改善を推進します。
- 5 電力所員が基本的な考え方を認識し、電力所環境方針に沿った行動を行うように従業員教育を行います。

環境方針は社内外へ公表します。

平成20年4月1日

九州電力株式会社 熊本支店  
送変電統括部 人吉電力所長

# 第3章／環境活動のしくみ

人吉電力所は、長期的視点に立ち、継続的に環境負荷の低減に取り組むため、以下のようなしくみを築いて環境保全活動に取り組んでいます。

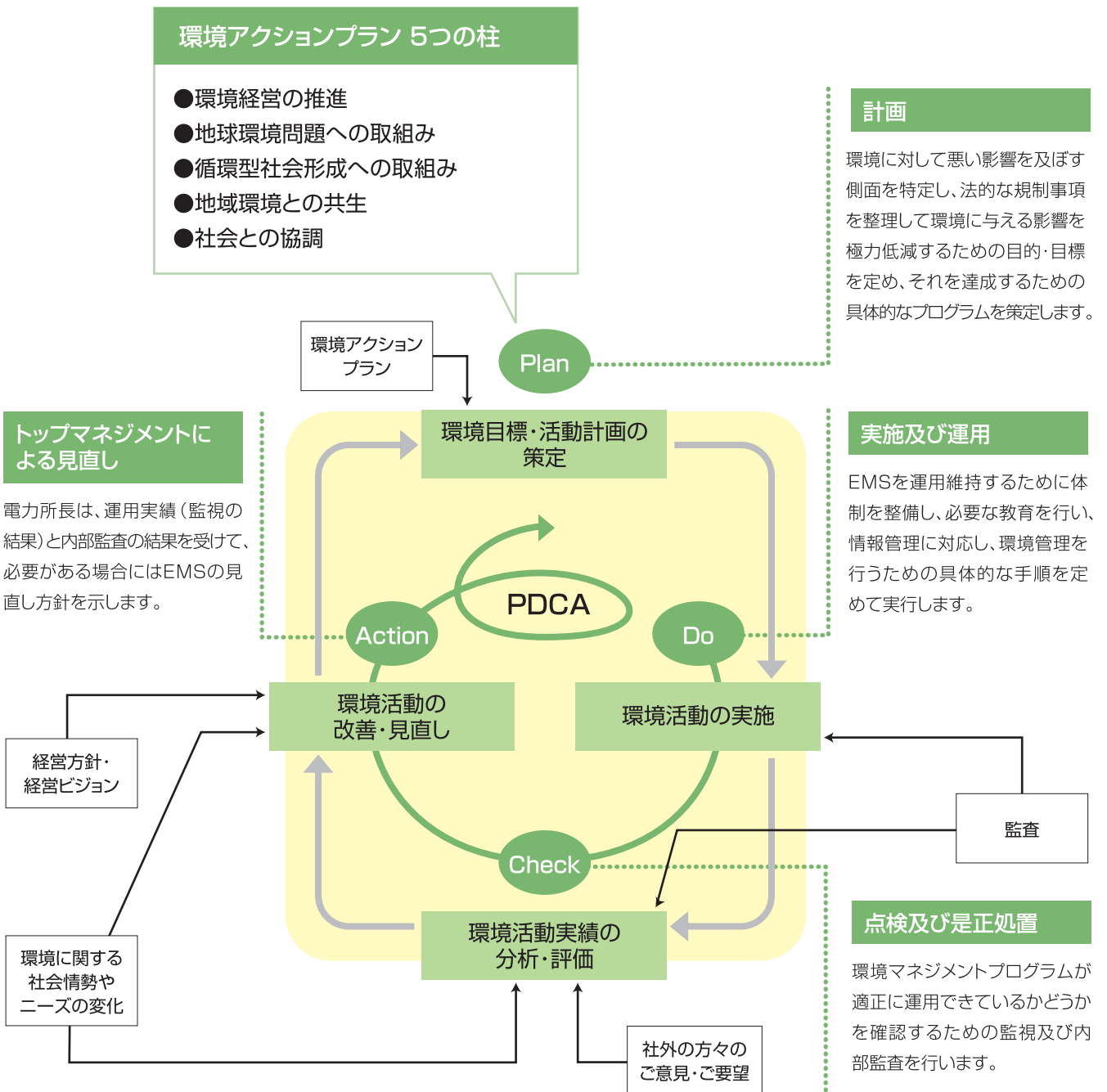
## 1. 環境マネジメントシステム

### (1) EMS導入とISO14001認証取得

人吉電力所では、所員及び関係者の環境保全に対する意識の高揚、並びに環境負荷軽減のための継続的改善による環境管理レベルの向上などを目的として、環境マネジメントシステム(EMS)を導入しています。

EMSは、電力所の環境保全に関する基本姿勢を示した環境方針に基づき、以下に示すPDCAサイクルを繰り返すことで、環境負荷の継続的な低減を図るシステムです。

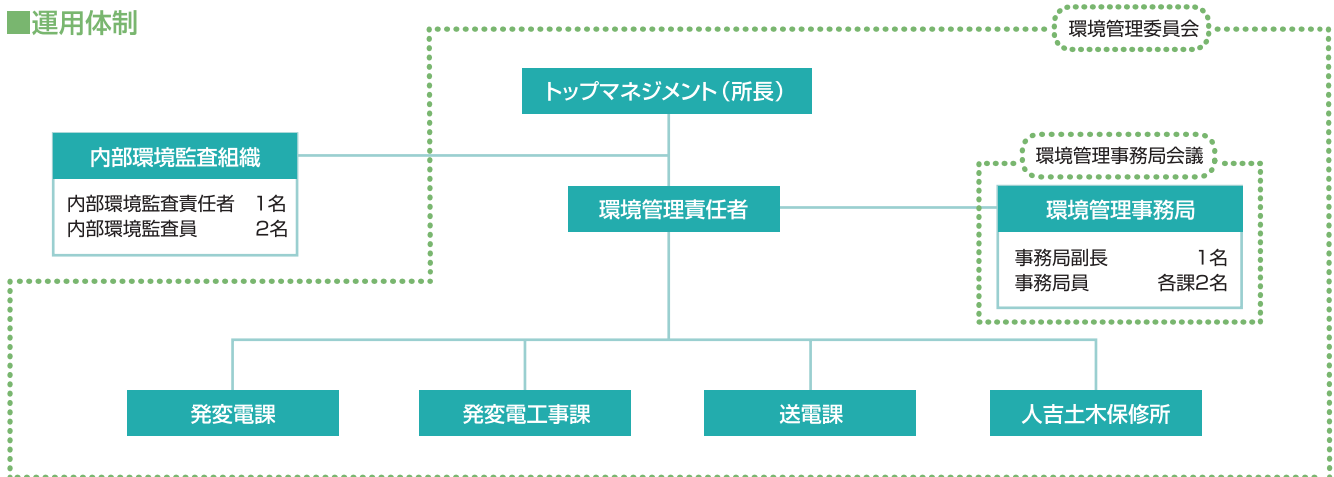
このシステムを2000年9月に導入し、翌年3月に国際規格であるISO14001の認証を取得しています。





## (2) 運用体制

電力所内で業務する人吉電力所員及び人吉土木保修所員が協力して環境マネジメントプログラムに定められた役割分担に従い、環境管理に取り組んでいます。



## (3) 内部環境監査

電力所長が任命した「監査責任者」を中心とした「内部環境監査組織」が、環境監査を年1回実施しています。ここでは、人吉電力所における環境管理がISO14001規格の要求事項に適合し、適切に実行・維持されているかを確認しています。

## (4) 教育・訓練

環境マネジメントシステムに関する教育や、各所員に応じた各種の教育・訓練を定期的に行っています。

また、緊急事態を想定し、大規模非常災害復旧訓練、油流出事故復旧訓練及び消防訓練などを定期的に行っています。

なお、当電力所員が保有する環境関連の資格は右表のとおりです。(土木保修所含む)

### 当電力所員の環境関連資格の保有状況

資格名	資格者数(人)
防火管理者	2
衛生管理者	26
特別管理産業廃棄物管理責任者	5
危険物取扱責任者	28
内部環境監査員	6

2008年4月1日現在

## (5) 外部環境審査

2001年3月の認証取得以降、毎年、第三者の審査機関からEMSが適切に実行され、維持されていることを定期審査により確認を受けています。さらに、認証の有効期間が3年であることから3年目には更新審査を受けて更新継続しています。

### 外部審査機関による受審状況

	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
認証取得	○							
更新審査				○			○	
定期審査		○	○		○	○		○

## 2. 環境目的・目標の計画と実績

### (1) 2007年度の実績と評価

環境管理活動上、電力所が重点的に取り組むべき課題に対して、目的・目標を定め環境活動に取り組んでいます。

#### 2007年度EMS目標の取り組み結果

項目	計画		結果	備考
	目標値	実施方法		
事務所内電力使用量の削減	1999年実績から22%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯</li> <li>・冷暖房の温度設定(冷房28℃、暖房19℃)</li> <li>・空調運転停止時間の管理</li> <li>・不使用OA機器の電源断の実施(平日、週末電源断対象機器の明確化)</li> <li>・省エネ標語類の設置</li> <li>・執務室他不要蛍光灯の間引き</li> <li>・時間外の適正実施、管理</li> <li>・自動点灯スイッチの導入拡大</li> <li>・空調効率UP対策の実施(夏場のブラインド運用、エアコン吹出し口調整)</li> </ul>	1999年実績から21.7%削減	ほぼ目標達成
事務所活動における紙の使用量削減	2002年実績から28%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面印刷、両面コピーの徹底</li> <li>・コピー後の設定リセットによるミスコピー防止</li> <li>・印刷前のプレビューによるミスプリント防止</li> <li>・コピー用紙のA4サイズ統一</li> <li>・ミスコピー用紙の裏面活用</li> <li>・プロジェクターの活用(会議における紙の使用量削減)</li> </ul>	2002年実績から28.4%削減(参考)1999年実績から45%削減	目標達成
一般廃棄物の削減及び再資源化の推進	発生量5,000kg以下 リサイクル率80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源ゴミ分別の徹底</li> <li>・生ゴミ処理機の使用</li> <li>・現場一般廃棄物の処理適正化</li> <li>・リサイクル可能物品の抽出、明示</li> </ul>	発生量4617kg リサイクル率74.8%	一部目標未達
環境に優しい行動の積極的推進	34点/人 (環境活動をポイント化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に優しい行動の実施(ポイント設定項目)</li> <li>電力所周辺3S活動</li> <li>徒歩、自転車での通勤</li> <li>私有車運転時の省エネ運転</li> <li>植樹、清掃等環境活動への参加</li> <li>不法投棄ゴミ発見時の通報</li> <li>割り箸リサイクル活動 など</li> </ul>	38.6点/人	目標達成
溢水電力*に繋がる事故障害件数の低減	2003年~2005年の平均から10%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備懸案事項の計画的な解消</li> <li>・水車発電機巡視の強化(異常の早期発見、対応)</li> <li>・チェックリスト等による施工不具合の撲滅</li> <li>・再発防止、水平展開の確実な実施(検討体制、原因究明方法等の整備)</li> </ul>	2003年~2005年の71%削減	目標達成
オフィスクリーンの推進	平均85点以上 (チェックリストによる点数化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィスクリーン定着化に向けた取組み(チェックリストを用いた実施状況確認)</li> <li>・文書電子化の推進</li> <li>・発電所書類、倉庫の整理(チェックリストを用いた整理状況確認)</li> </ul>	92.5点	目標達成

なお、「社用車の燃費向上」など活動が定着したものについては、特に目標値は定めず、「維持運用活動」として継続して取り組むこととしています。

\*事故や作業などにより発電機を停止した場合、発電可能な水が河川にあるにもかかわらず、発電に使用されない(資源を有効に利用しない)ことになります。このとき使用されなかった水量を溢水(いっすい)といい、その溢水に相当する仮の発電電力を溢水電力といいます。

## (2) 2008年度の計画

2008年度の計画は以下のとおりとしました。

## 2008年度EMS目標

計画（ ____は新規取り組み）			備考
項目	目標値	実施方法	
事務所内電力使用量の削減	1999年実績から24%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯</li> <li>・冷暖房の温度設定（冷房28℃、暖房19℃）</li> <li>・空調運転停止時間の管理</li> <li>・不使用OA機器の電源断の実施（平日、週末電源断対象機器の明確化）</li> <li>・省エネ標語類の設置</li> <li>・執務室他不要蛍光灯の間引き</li> <li>・時間外の適正実施、管理</li> <li>・自動点灯スイッチの導入拡大（別館への導入）</li> <li>・空調効率UP対策の実施（夏場のブラインド運用、エアコン吹出し口調整）</li> </ul>	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
事務所活動における紙の使用量削減	2002年実績から34%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面印刷、両面コピーの徹底</li> <li>・コピー後の設定リセットによるミスコピー防止</li> <li>・印刷前のプレビューによるミスプリント防止</li> <li>・コピー用紙のA4サイズ統一</li> <li>・ミスコピー用紙の裏面活用</li> <li>・プロジェクターの活用（別館会議室のLAN活用）（会議における紙の使用量削減）</li> </ul>	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
一般廃棄物の削減及び再資源化の推進	発生量4,100kg以下 リサイクル率80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源ゴミ分別の徹底</li> <li>・生ゴミ処理機の使用</li> <li>・現場一般廃棄物の処理適正化</li> <li>・リサイクル可能物品の抽出、明示</li> </ul>	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
設備懸案事項の計画的な解消	計画懸案の100%解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懸案事項解消のための作業計画作成</li> <li>・計画懸案の確実な実施</li> <li>・新規発生懸案の対策時期検討</li> <li>・緊急対応を要す新規設備懸案の迅速な処理</li> <li>・環境負荷の低減の着実な推進（石綿削減、油レス化推進等）</li> </ul>	新規（取り組み内容見直し）
環境に優しい行動の積極的推進	36点/人（環境活動をポイント化）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に優しい行動の実施（ポイント設定項目）</li> <li>電力所周辺3S活動</li> <li>徒歩、自転車での通勤</li> <li>私有車運転時の省エネ運転</li> <li>植樹、清掃等環境活動への参加</li> <li>不法投棄ゴミ発見時の通報</li> <li>割り箸リサイクル活動</li> <li>ペットボトル蓋リサイクル活動</li> <li>環境家計簿（エコファミリー）データ入力 など</li> </ul>	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
オフィスクリーンの推進	平均93点以上（チェックリストによる点数化）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィスクリーン定着化に向けた取り組み（チェックリストを用いた実施状況確認）</li> <li>・文書電子化の推進</li> <li>・発変電所書類、倉庫の整理（チェックリストを用いた整理状況確認）</li> </ul>	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む

# 第4章／環境活動への取組み

人吉電力所における具体的な環境保全活動についてご紹介します。

## 1. 環境汚染を予防する設備形成の推進

お客さまへお届けする電気は、発電所、送電線、変電所、配電線といった様々な設備を経由しており、当社はそれぞれの設備に対応した環境配慮への取組みを行っています。ここでは、人吉電力所で行っている活動の一例をご紹介します。

### 水力発電所油レス化の推進

水力発電所からの油流出を抑制する観点から、水車起動・停止時など弁開閉操作を油圧から電動化することで保有油量を少なくし環境に負荷を与えるリスクの低減を図っています。2005年度は2発電所を電動化し、圧油用の油を1,500ℓ低減しました。

また、2007年度は1発電所の水車を潤滑油レス構造とし、潤滑油用の油を100ℓ低減しました。

さらに、水力発電所の潤滑油として油脂メーカーが開発された「環境に優しい油（万一河川へ流出しても自然界の微生物に分解しやすい油）」を2005年度から試験的に採用しています。



水車発電機

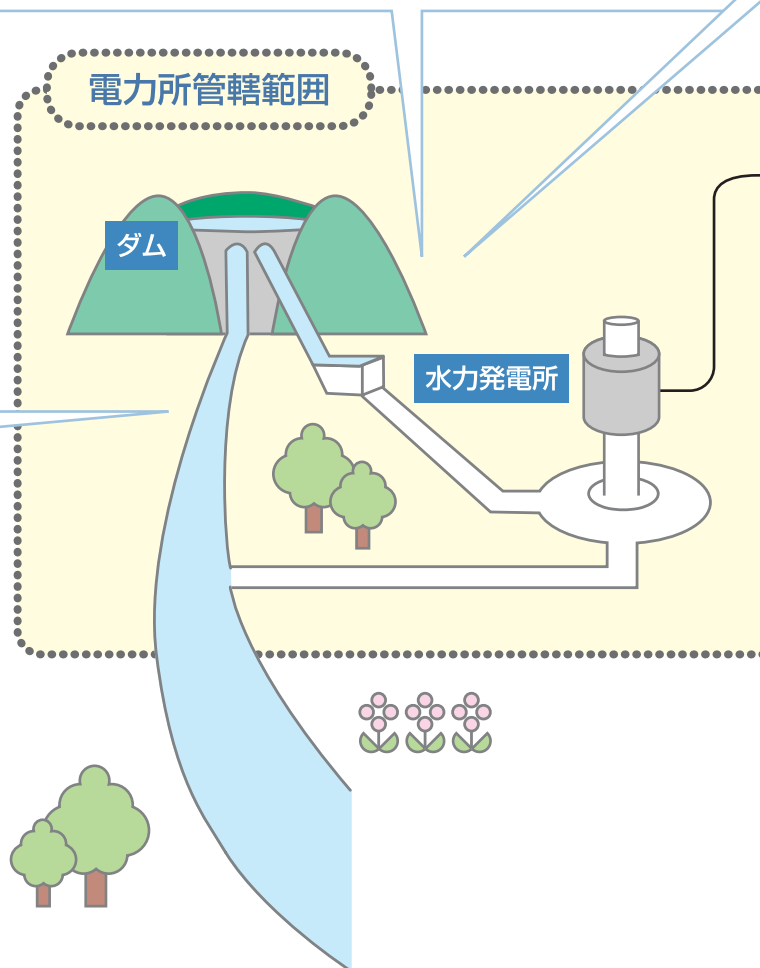
### 国産自然エネルギーの有効利用

水力発電所は、発電時CO<sub>2</sub>を排出しないクリーンなエネルギーであり、国産自然エネルギーの有効利用の観点から、水力発電所の水車・発電機など機器取替の際には出力アップを指向しています。

2005年度は当電力所管内2発電所の出力を2,520kWアップしました。

・田迎発電所 2,200 → 4,700kW ・大野発電所 60 → 80kW

また、2007年度の人吉電力所管内水力発電所の発電電力量は142,115MWhで、これを化石燃料で発電した場合と比較すると約10万tのCO<sub>2</sub>削減に相当します。



### 事故に備えた訓練の実施

水力発電所は河川に油が流出しない設備の構築を行っていますが、万一油が流出した場合に備え、迅速・的確な対応により、被害を最小限に抑えることが出来るように年1回定期的な訓練を行っています。



オイルフェンス設置及び油回収



訓練状況

## 流木の有効活用

水力発電所のダムなどに漂着した流木塵芥については、仮置き場に集積後、破碎機にて粉碎処理し田畑の堆肥として利用するなど有効に活用しています。

2007年度は403m<sup>3</sup>の流木塵芥を回収し、再利用しました。



流木塵芥の袋詰め

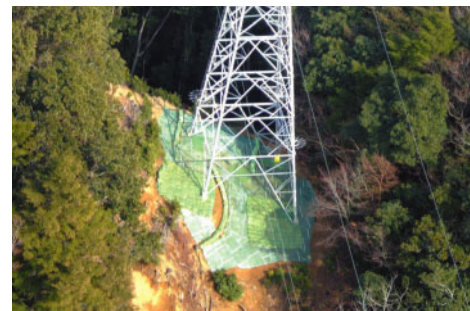


破碎機による粉砕

## 送電鉄塔の環境調和

送電鉄塔の鉄塔敷地面には種子を入れた植生マット及び植生土嚢を設置し、これを根付かせることで風雨等による表層流出(地肌露出)を抑制するとともに緑化にも貢献しています。

2007年度は、山間部に新しく設置した8基の鉄塔基礎部を緑化しました。

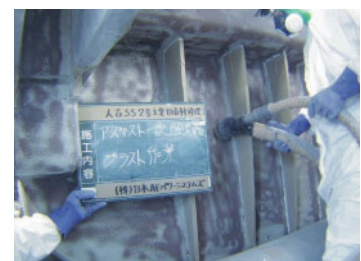


鉄塔基礎部

## 石綿除去の推進

変圧器表面の防音用吹付け石綿は、可能な限り飛散しない工法で除去し、健康障害リスクの軽減に努めています。

2006~2007年度で変圧器2台(16t)の石綿を除去しました。



石綿除去作業状況

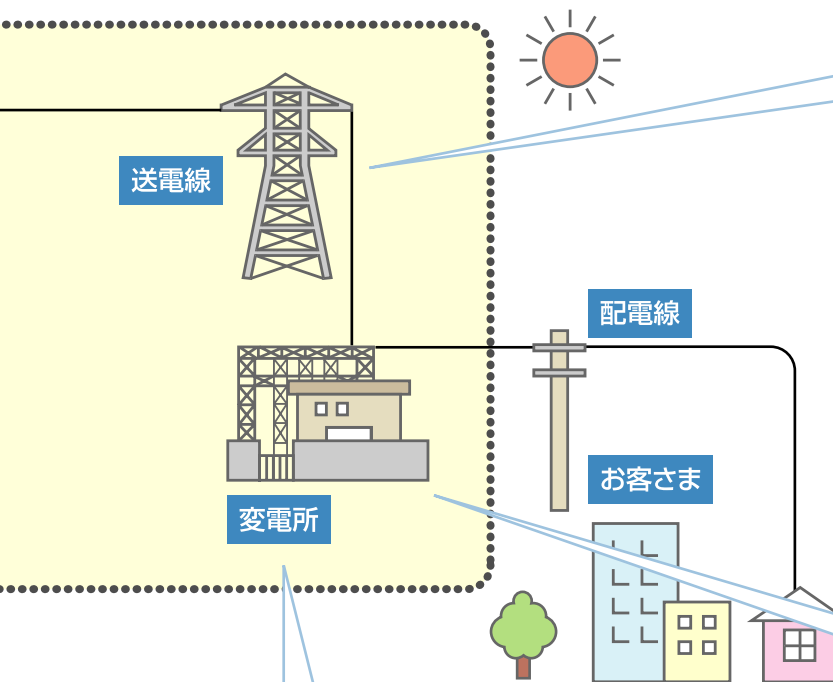
## オゾン層破壊ガスの回収徹底

ガス絶縁開閉器に使用している六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)ガスは、機器点検の際、大気に放出しないよう専用の回収装置を使用して排出の抑制に努めています。当電力所の点検作業等における2007年度の回収率は99.5%となりました。

また、空調装置の取替時には、オゾン層に影響のない代替フロンの使用機器への順次切替を行っています。



ガス絶縁開閉器



## 2. 電力所オフィスにおける3Rの推進

当社は循環型社会の形成に向けて、廃棄物の最終処分量を限りなくゼロに近づける「ゼロエミッション」に挑戦しており、発生抑制 (Reduce:リデュース)、再使用 (Reuse:リユース)、再利用 (Recycle:リサイクル) の3Rに取り組んでいます。

### (1) 一般廃棄物の3R

電力所で発生する一般廃棄物には、古紙、ペットボトル、ビン、缶などがあり、人吉市の「資源ごみ」回収に協力するとともに、以下のような取組みを行っています。

#### 一般廃棄物の分類

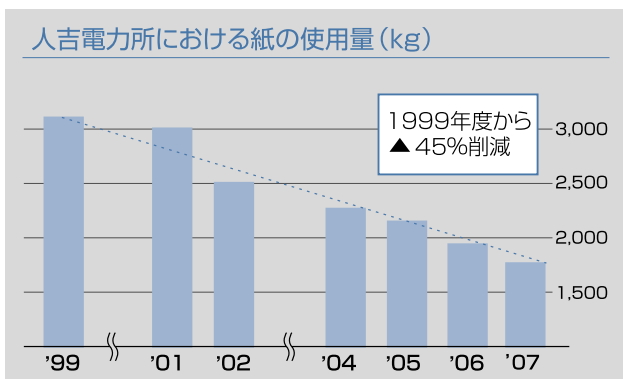


(人吉球磨クリーンプラザホームページより転載)

※当所から排出される使用済蛍光灯はグループ会社の(株)ジェイ・ライツですべてリサイクルされています。

#### ■ リデュース、リユースへの取組み

事務用紙については、電子承認システムの採用等による社内文書の電子化の推進及び印刷時の両面コピー、会議におけるプロジェクタの使用などにより古紙の発生抑制とミスコピー用紙の裏面再利用などに努めており、2007年度の事務用紙購入量は1999年度と比較して45%削減しました。



分別収集状況

#### ■ リサイクルへの取組み

2005年度から、割り箸リサイクルに取り組んでいます。回収した割り箸は、紙の原材料として再利用されています。さらに2008年度からは、ペットボトルの蓋のリサイクルにも取り組んでいます。

また、生ごみについては、生ごみ処理機で堆肥化し構内緑化用の肥料として利用しています。



ペットボトル蓋・割り箸回収箱



生ごみ処理機設置状況

## (2) 産業廃棄物の適正処理

工事で発生する産業廃棄物は、取引先の処理が適正に行われていることを産業廃棄物管理表(マニフェスト)で確認するとともに、再使用(リユース)・再利用(リサイクル)の徹底により、可能な限り最終処分量を削減するよう取り組んでいます。

## (3) グリーン調達の推進

事務用品、OA機器消耗品等の購入においては、環境に配慮した製品を購入する「グリーン調達」を推進しています。

オフィスで使用する物品は、環境にやさしいエコ製品(エコマーク商品等)を積極的に購入しています。(例:コピー用紙類、トイレトーパー、文具類、パソコン他)

## 3. 地域貢献

当電力所は、地域の環境ボランティアにも積極的に取り組んでいます。

### (1) 地域清掃活動への積極的参加

毎年5月に実施される人吉温泉焼酎祭り及び8月の花火大会後に行われる人吉市主催の清掃ボランティアに2007年度は計38名が参加しました。

### (2) 植樹活動への参加

当社は、創立50周年を記念して10年間で100万本を植樹する「九州ふるさとの森づくり」に取り組んでいます。

2007年度は上益城郡山都町の植樹活動に、当電力所から11名が参加しました。



植樹活動

### (3) 不法投棄防止への取組み

当電力所を含む人吉地区の九電グループ各社は、県(球磨地域振興局)と「廃棄物の不法投棄に関する協定」を締結しており、送電線の巡視時などに不法投棄と思われる状況を発見した場合は自治体へ情報提供を行います。2007年度は不法投棄ゴミの回収活動を行うとともに、現場出向時に新たな不法投棄を2件発見し自治体への情報提供を行いました。

(様式第1号) 不法投棄発見報告書

氏名	勤務先	発見日時	発見場所	現場の状況	不法投棄の行為	産業物運搬車両	不法投棄された廃棄物の種類及び量	写真撮影	不法投棄発見場所(地図)
		平成20年1月20日(火) 14時30分頃	人吉市 藤成寺町 番地 球磨郡 町・村 番地	山林 田畑 雑草地 河川(その他(注釈あり))	- 投棄者判明(生名: 歳位)(性別: 男・女) 氏名 (匿名不詳)	車種(ダンプ、軽トラ) 登録番号(約) 車体番号(約)	- 一般廃棄物(家庭からのごみ) 約 t - 産業廃棄物(事業場のごみ) 約 t - その他(注釈あり) 約 t	(写真あり) ・写真なし	不法投棄発見場所(地図: 付近の目印になるものを記入して下さい)

【記入時の注意事項】  
不法投棄の行為者が近くにいる場合等、自身に危害が生じる恐れがある場合は、安全確保のため遠隔記入する等十分気を付けて下さい。

不法投棄  
発見報告書



不法投棄状況

#### (4) 小学校における環境活動講師の実施

当電力所の「不法投棄ゴミ回収活動」に関心を抱かれた小学校からの依頼を受けて、2005年5月23日、人吉市立田野小学校の総合学習の時間に「環境問題と当社の環境活動」をテーマとして講義を受け持ちました。

当社の環境活動について知っていただくとともに、環境問



小学校での講義

題への関心を高めることに貢献できました。その後、この小学校では児童自らが製作した不法投棄防止の看板が設置されるとともに、毎年当電力所と協力してプランタの設置、清掃活動を行うなど環境活動の輪が広がりを見せています。



プランタの設置と清掃活動に参加された皆さま

#### (5) 社会福祉施設清掃ボランティアの実施

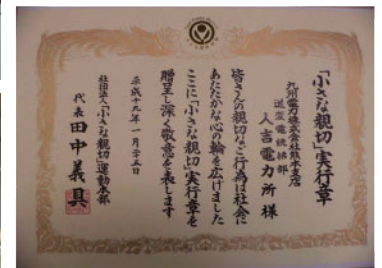
当電力所では、地域奉仕の一環として障害者福祉施設の清掃ボランティアを行っています。

2007年11月には当電力所員24名であさぎり町立救護施設しらがね寮の雨樋、窓等の清掃を行いました。

このような活動が評価され、2007年1月に社団法人「小さな親切」運動本部さまから、第520回実行章を受章しました。



清掃ボランティア



「小さな親切」実行章

#### (6) 稚魚放流の実施

当社「環境月間」の一環として、当電力所では清流への稚魚放流などを行っています。2007年6月には五木村川辺川流域の五木北小学校の児童・教諭の皆さまとともにヤマメ稚魚8,000匹を放流しました。



ヤマメ放流

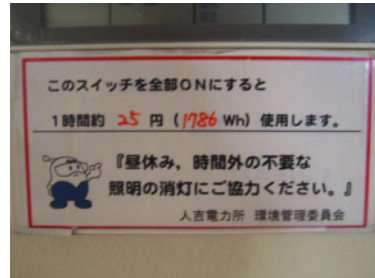


## 4. 環境活動意識の高揚

### (1) 意識高揚標識の設置

所員がコスト意識を持って省エネなどの環境活動に取り組むように、意識高揚のための標識を照明・エアコンのスイッチなどに設置しています。

また、当電力所では環境にやさしい行動の一環として「樹木に優しい前向き駐車」にも取り組んでおり、お客さま用駐車場に呼びかけ看板を設置し、励行いただいています。



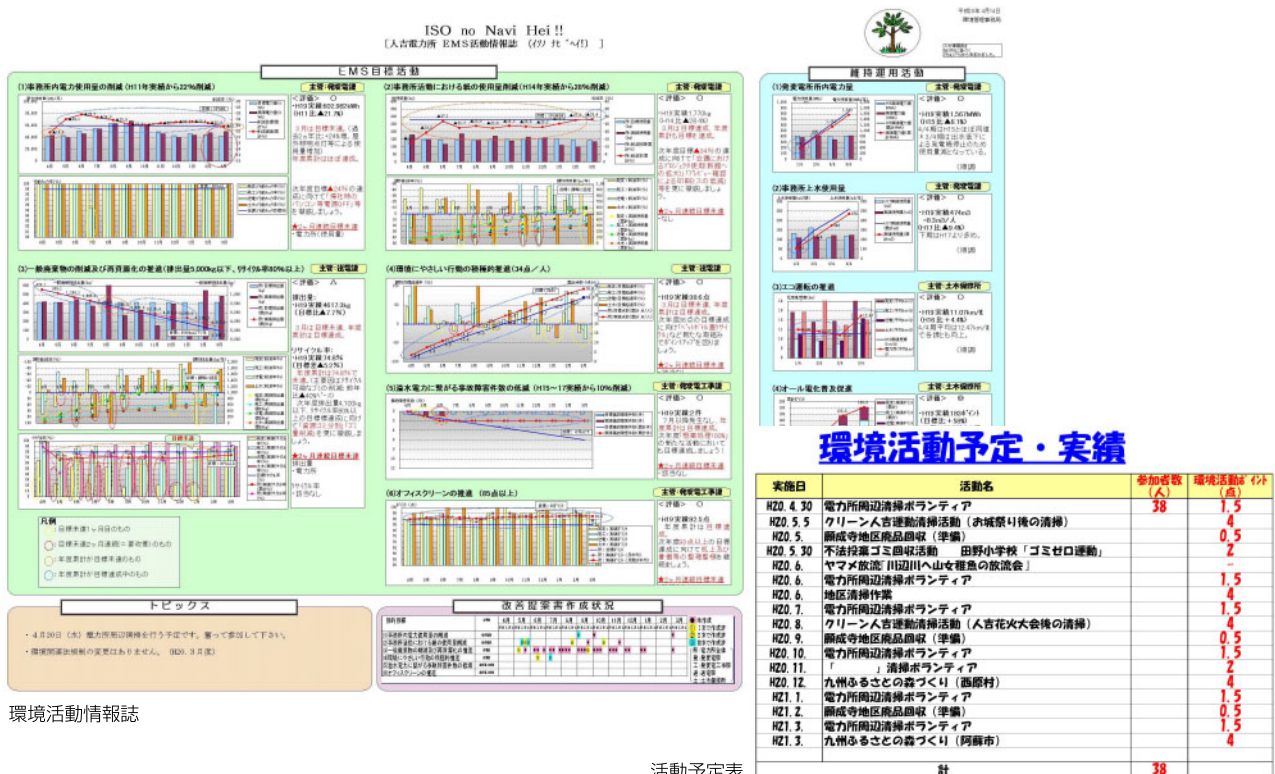
スイッチ部の標識



「前向き駐車」呼びかけ看板

### (2) 環境活動情報誌の掲示

当電力所では、毎月の活動状況を「EMS活動情報誌」として作成し、目標達成状況、法改正などの周知と目標達成の動機付けのために所内掲示しています。また、環境活動の今後の予定などを掲示し、所員が環境活動に自主的・計画的に参加できるようにしくみを作っています。



活動予定表

環境活動情報誌

### (3) 環境にやさしい日常行動の自己評価

当電力所では、事業所独自の取組みとして、所員の環境への日常的貢献活動や地域ボランティア活動などを「環境に優しい行動」としてポイント化し、自己評価することで所員の参加意識を高め、活動の活性化を図っています。

環境に優しい日常行動チェックシート (H20年 4月)

記入方法: 各項目ごとに数値および「○」「×」を記入し、月末に獲得ポイント数を記入して下さい。

項目	活動方法 【毎週1回/不定時(任意)】 【1回または1日程度】	事務所 活動(任意) 【任意日 (○を記入)】	地域・近隣 活動(任意) 【任意日 (○を記入)】	私有家屋敷チェック項目 【(任意)または1日/1週間(任意)の日々×を記入、 ただし、9ヶ月連続は対象を記入】
1 (水)				
2 (木)				
3 (金)				
4 (土)				
5 (日)				
6 (月)				
7 (火)				
8 (水)				
9 (木)				
10 (金)				
11 (土)				
12 (日)				
13 (月)				
14 (火)				
15 (水)				
16 (木)				
17 (金)				
18 (土)				
19 (日)				
20 (月)				
21 (火)				
22 (水)				
23 (木)				
24 (金)				
25 (土)				
26 (日)				
27 (月)				
28 (火)				
29 (水)				
30 (木)				
31 (金)				
合計	0	0	0	0

※1: 別表2, 3を参照し、獲得ポイントを記入  
※2: 別表2, 3を参照し、獲得ポイントを記入  
※3: 金曜日・急用車の禁止および一定  
運送運転の減額  
※4: 当月、一回でも「×」があれば  
ポイント対象外となる

日常活動(行動)獲得ポイント合計: 日常 0, 電力所35, 参加 0.5 (点)  
環境活動(ボランティア含む)への参加ポイント: 1.5 (点)  
その他活動(不法投棄/ごみ分別/省エネ/省水) 0.5 (点)

環境に優しい日常行動チェックシート

具体的には日常生活の中で行う通勤手段、自動車運転方法などの日常活動と清掃、廃品回収及び植樹等への参加などの環境活動を点数化の対象としており、このような活動を通じてEMS活動への当事者意識が芽生え、活動も年々活発化しています。

各活動等の点数一覧表とその根拠

1. 考え方  
○客観的な点数付けを行うため、案件等に点数を配分した。  
○客観的な点数評価以外の判断が必要なのは、環境管理事務局や委員会が審議を行い、  
電力、所員の創意に基づいて点数を決定した。

2. 点数算出根拠表

NID	内容	点数	NID	内容	点数
a-1	勤務時間内	0.5	a-2	時間外	1
b-1	徒歩(半日程度)	0.5	b-2	(全日相当)	1
e-1	必然性有り	0.5	e-2	勤務時間内に 自発的実施・参加	1
e-3	協定締結事項	2	e-4	勤務時間内に 自発的実施	2

3. 各活動点数および、その根拠一覧表

(1) 日常活動

NID	項目	点数	該当	根拠
①	人吉電力所周辺3S, 倉庫整理	0.5点/人/回	a-1	・該当項目(a-1=0.5点)
②	通勤(徒歩・自転車)			別表「別表2」のとおり
③	通勤(自転車)			別表「別表2」のとおり
④	ゴミ分別収集・処理	0.5点/人/回	a-1, e-2	・該当項目(a-1=e-2)では3点となるが、実施者の負担が軽いため、0.5点とした。
⑤	生ゴミ処理	0.5点/人/回	a-1, e-2	・実施者の負担が軽いため、0.5点とした。
⑥	私有車省エネ運転	0.5点/人/回	a-2, e-3	
⑦	私有車適正タイヤ空気圧	0.5点/人/回	a-2, e-3	

(2) 環境活動

NID	項目	点数	該当	根拠
⑧	人吉電力所周辺道路清掃	1.5点/人/回	b-2, e-1	・該当項目(a-1=e-1)=1.5点
⑨	不法投棄ごみ回収活動	2点/人/回	a-1, b-1, e-2	・該当項目(a-1=b-1+e-2=3点)
⑩	市内・市外清掃活動(市主催)	4点/人/回	a-2, b-1, e-3	・作業時間は30程度だが、草率な実施地であるため、b-2相当の該当とした。
⑪	地域奉仕作業	4点/人/回	a-2, b-1, e-3	
⑫	環境改善区画清掃(清掃)	0.5点/人/回	a-1, e-2	・No.⑧、⑩と同様
⑬	九州ふたの森づくり	4点/人/回	a-2, b-1, e-3	

(3) その他活動

NID	項目	点数	該当	根拠
⑭	不法投棄ごみの通報	5点/回	d-1	
⑮	リサイクル用紙回収	1点/20枚	a-2, e-2	・社外で収集したものに限り。
⑯	ペットボトル回収	1点/20個	a-2, e-2	・社外で収集したものに限り。
⑰	エコファームリポーター入力	0.5点	e-1	・前月データの入力

点数設定の根拠

### (4) 環境方針カードの配付

環境方針は事務所に掲示するとともに、EMSに関する認識を促すため、活動内容を併記した環境活動カードを全所員に配布し、常に環境保全を意識するようにしています。

ISO 14001 環境管理

環境方針

「P5を参照ください。」

平成20年度 人吉電力所EMS活動内容

項目	目標値	具体的活動内容	実施時期
事務所内電力使用量の削減	H11年度実績から▲24%	・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯 ・冷暖房の温度設定(冷房28℃、暖房19℃) ・空調運転停止時間の管理 ・不使用OA機器の電源断の実施(平日、週末電源断対象機器の明確化) ・省エネ標識類の設置 ・執務室他不要蛍光灯の間引き ・時間外の適正実施、管理 ・自動点灯スイッチの導入拡大(別館への導入) ・空調効率UP対策の実施(夏場のブラインド運用、エアコン吹出し口調整)	全課 【発変電】
事務所活動における紙の使用量の削減	H14年度実績から▲34%	・両面印刷、両面コピーの徹底 ・コピー後の設定リセットによるミスコピー防止 ・印刷前のプレビューによるミスプリント防止 ・コピー用紙のA4サイズ統一 ・ミスコピー用紙の裏面活用 ・ミスコピー防止の徹底 ・プロジェクターの活用(別館会議室のLAN活用) (会議における紙の使用量の削減)	全課 【発変電】
一般廃棄物の削減及び再資源化の推進	発生量4,100kg以下 リサイクル率80%以上	・資源ゴミ分別の徹底 ・一般廃棄物の管理・リサイクルの推進 ・生ゴミ処理機の使用 ・現場一般廃棄物の処理適正化 ・リサイクル可能な物の抽出	全課 【送電課】

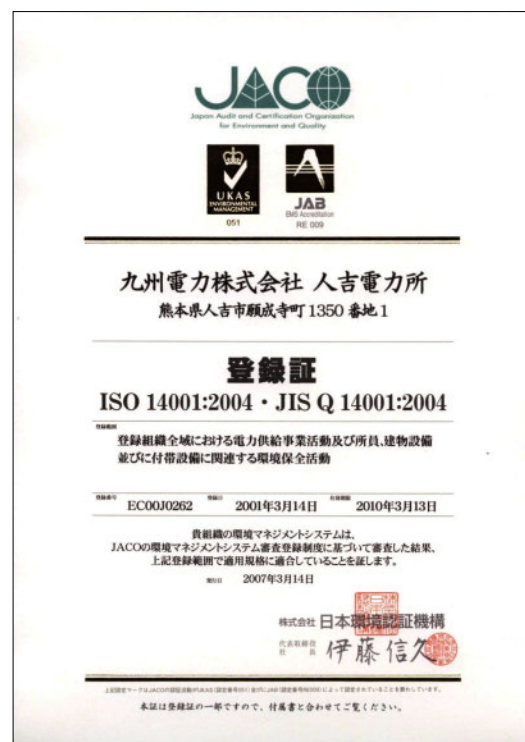
平成20年度

■EMS目標活動(〃は新規取り組み)

環境活動カード

## 5. 人吉電力所EMSの経緯

1999年 9 月16日	「環境ISO14001取得推進委員会」発足
2000年 9 月 1 日	環境マネジメントマニュアル制定・発行(各活動の開始)
2001年 2 月16日	本審査
2001年 3 月14日	認証取得
2002年 5 月30日	環境ISO活動による社長表彰受賞
2002年10月 1 日	「環境管理基準」制定
2003年 2 月 6 日	2年次サーベイランス(結果：向上)
2004年 3 月10日	更新審査合格
2004年 6 月23日	県と「廃棄物の不法投棄対策に関する協定書」を締結
2005年 2 月 4 日	1年次サーベイランス(結果：向上)
2006年 3 月 2 日	2年次サーベイランス(結果：向上)
2007年 1 月25日	社団法人「小さな親切」運動本部より「小さな親切」実行章を受章
2007年 3 月14日	更新審査合格
2008年 2 月19日	1年次サーベイランス(結果：向上)





ずっと先まで、明るくしたい。



九州電力  
環境活動 シンボルマーク

このシンボルマークは、九電グループが取り組む4つの事業領域（総合エネルギー事業、情報通信事業、環境・リサイクル事業及び生活サービス事業）を「4つ葉のクローバー」でデザインしたもので、クローバーの茎は、Energy、Ecologyなどの「e」を意味し、九州電力がグループ全体の事業活動を通じて環境活動を推進していく姿勢を表現しています。

本レポートについてのご意見・お問い合わせ先

九州電力（株）熊本支店  
送変電統括部 人吉電力所  
TEL(0966)22-2289



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

九州電力はチーム・マイナス6%に参加しています。